



SEADS研修生は鶴岡市内での新規就農を目指し、市内各地で実習を行っています。地元をはじめ、全国各地から集まった若者をあたたかく御支援ください。

SEADSのホームページはこちらのQRコードからご覧いただけます。

協定締結者から講話を頂きました

SEADSでは、1年生の定住・就農に向けたモチベーションを高めるため、必修として「農業人材育成・確保に関する協定」締結8者の代表による講話の時間を設けています。

1月26日（水）には、鶴岡工業高等専門学校森政之校長から講話をいただきました。研修生と同様に今年度県外から赴任されたご経歴等から「新しい土地で働くこと」にスポットを当てた貴重なお話を伺うことができました。

また、翌27日（木）には、東北芸術工科大学の中山ダイスケ学長より「農・食とデザイン」というタイトルで講話をいただきました。学長から語られる、農産物・加工品のパッケージデザインや販売プロモーション動画の作成などのポイントに、研修生は熱心に耳を傾けていました。



（鶴高専森校長の講話を聞く研修生）



（東北芸工大中山学長からはリモートで講話を頂きました）

営業のポイントなどを学びました



（講義の様子）

1月27日（木）、就農を間近に控えている2年生を対象に、経営に関する講義を行いました。研修生は、これまで作成した営農計画をもとに自身の経営ビジョンや考えを相手に説明、伝える際のノウハウやポイント等を学びました。

園芸品目相談会に参加しました



（園芸品目を相談している研修生）

1月20日（木）、JA鶴岡主催の園芸品目相談会に研修生も参加させていただきました。お勧めの品目や栽培ポイント等についての相談に対し、様々なアドバイスを頂きました。

研修生の紹介



青木麻衣さん（茨城県出身）

【実習先：藤島（水稻）、大泉（園芸）】

鶴岡では四季をはっきり感じるすることができます。そのためか、皆さんから旬の食材に対する熱い思いを感じる機会が多くあります。美味しいものが一年中あり、移住してきてよかったと強く感じます。



南澤駿佑さん（神奈川県出身）

【実習先：大泉（水稻）、西郷（園芸）】

研修でトラクターを運転する機会があり、初めてタイヤを取られて動けなくなるという体験をしました。失敗から学び、就農時にはトラブルにも柔軟に対応できるよう技術・知識を身に付けていきたいです。